

第3回「つながるカフェ」滑川で開催



滑川市瀬羽町(せわまち)は、古くは北国街道加賀藩の宿場町として賑わった場所で、多くの歴史的建造物が残る、趣のある地域です。近年、この地域では、県内外から人がやってきて、街道沿いの空き家を活用した個性的なカフェやアンティーク・ショップなどを次々にオープンしています。

第3回「つながるカフェ」は、そんな見どころいっぱいの瀬羽町を舞台に、2023年11月2日(木)に開催しました。ゲストはNPO法人「滑川宿まちなみ保存と活用の会」小沢政商(こざわ・まさあき)さん、小森忠(こもり・ただし)さん、久保真人(くぼ・まさひと)さん、そして、それぞれの地域で古民家を活かしながら取り組みを展開している(元)地域おこし協力隊のおふたり、斉藤まゆ美(さいとう・まゆみ)さん(射水市地域おこし協力隊)、小澤泰史(こざわ・たいし)さん(元黒部市地域おこし協力隊)です。

当日は、着任して間もない隊員さんも含め、9市町から10名が参加しました。

今回のメニューは、集合場所「旧宮崎酒造」で自己紹介の後、この素敵な瀬羽町を街道沿いに歩く「まち歩き」からスタート。地元歴史、状況を熟知する「会」の皆さんにご案内いただきました。小沢さんのりっぱなお家に始まり、「朱雀堂」(雑貨)、玄米&海洋深層水デトックスカフェ「ハレとケ」、「hammock cafe Amaca」、「古本いるふ」、「Flower Store Cotton Cup」(花屋)などを訪れ、店主さんにご挨拶、店内も拝見させていただきました。途上、有隣庵(旧土肥家住宅)や養照寺境内にもお邪魔し、まち歩きを終了しました。

まち歩きの後は、「旧宮崎酒造」に戻り、2階にある Nanahime カフェで「つながるカフェ・タイム」をオープン。富山湾が見えるお洒落なカフェで、午後のゆったりしたひと時を過ごしながら、本日のゲストの皆さんから、それぞれの地域の状況、取り組み、空き家の活用などについて、貴重な実体験に基づいたお話を伺いました。お話の後は、テーブルを囲んで、また三々五々、おしゃべりタイムを楽しみました。

今回の「つながるカフェ」参加者の皆さんからは、「地域のプレーヤーの方と直にお話できたことがよかった」、「瀬羽町という所を初めて知って、また来たいと思った」、「地域のNPO法人の活躍のすごさに感心しました」といったご感想をいただきました。

瀬羽町では、地域への関心を深め、働きたい、住みたいという方々が増えるように、今後もさまざまな取り組みを行っていかれるとのこと。今回、参加できなかった皆さんも、ぜひ一度、瀬羽町までお出かけいただけたらと思います。

最後に、今回の企画に多大なるご協力をいただきましたNPO法人滑川宿まちなみ保存と活用の会 小沢政商さん、小森忠さん、久保真人さん、ご自身の活動について話をいただきました斉藤まゆ美さん、小澤泰史さん、そして司会を務めていただきました元魚津市地域おこし協力隊・県応援デスク相談員の中村静恵(なかむら・しずえ)さん、どうも有難うございました。



まち歩きのひとコマ



ゲストと参加者のみなさんで



中村静恵さん
(司会)



小森忠さん(右端)



斉藤まゆ美さん(中央)



小澤泰史さん(中央)



🌸 ゲスト・メッセージ 🌸

地域おこし協力隊の皆さん、そして県の関係者の皆さんと「つながるカフェ」という縁で一緒に、楽しい時間を共有できたこと大変嬉しく思いました。

生まれ育った地域から、同じ日本とは言え、自然や歴史、文化、生活の営みが異なる地域への移住は、個人的には大変な勇気のいることだと思っています。

皆さんの夢や希望が地域とマッチすればベストですが、やはりいろいろ苦勞されているのではないかと思います。それでも、それ以上に豊かな感性で地域に溶け込み、活躍されている皆さんは逞しいし、それぞれの地域の人も元気をもらっていると思います。我々も「つながるカフェ」に参加しただけで元気をもらいました。

地域おこしに年齢は関係ないと言われそうですが、やはり10年以上もNPO活動をやってきて、多少疲れがあり、若い人にバトンタッチしたいという気持ちになります。

地域づくりは、何ととってもやはり「人」です。出会いを大切に、人と人の繋がりが地域をよくしていくと信じています。

皆さんに感謝するとともに益々のご活躍を心よりお祈りいたします。

NPO 法人滑川宿まちなみ保存と活用の会
久保 真人

◆◆◆ 「現役隊員・OB OG 交流会」 開催報告 ◆◆◆

現在、多くの都道府県で地域おこし協力隊OB・OGによるネットワークづくりが進んでいます。背景にあるのは、隊員数が増えるとともに、それぞれの隊員の皆さんが抱えるニーズも多様化し、ひとりひとりに対するきめ細やかなサポートが求められつつあることです。自らの隊員としての経験をもとに、現役隊員により近い立場からサポートが提供できる、そんな役割がOB・OGネットワークに期待されています。

富山県でも地域おこし協力隊受け入れが始まって、既に10年以上が経過しており、多くのOB・OGさんが退任後も県内に定住しています。そんなOB・OG有志の方々が中心となって、現在、富山県でもOB・OGネットワークの設立に向けて準備が進んでいます。

12月4日(月)、立ち上げ準備の一環として、「みんなで富山の「地おこ」を考えよう!~現役隊員・OB OG交流会~」が開催されました。

当日のプログラムは、講演とワーク。最初に岡山県OB・OGネットワーク代表の藤井裕也(ふじい・ひろや)さんからネットワークを作ることの意義の説明、ネットワークの活動紹介などがありました。また、富山県OB・OGネットワーク設立にあたり、中心になって作業を進めていただいている澤田典久(さわだ・のりひさ)さんから県内の課題をふまえた事業案なども示されました。

その後のワークショップでは、参加者はグループに分かれ、「着任当初」、「活動中」、「退任前」に、現在、どのような課題があり、今後、どのようなサポートがあるとよいかについて話し合いました。それぞれのグループには、ネットワーク設立に澤田さんとともに取り組んでいただくコメンター井上浩延(いのうえ・ひろのぶ)さん、佐藤みどり(さとう・みどり)さん、中村静恵(なかむら・しずえ)さん、服部彩子(はっとり・あやこ)さんも加わりました。ワークの成果は、今後、ネットワークの活動や県のサポートに活かしていく予定です。

★来年2月21日(水)には、富山県OB・OGネットワーク設立式を予定しています。皆さん、ぜひご参加ください。★



ネットワークの説明



会場の様子

澤田典久さん(ネットワーク設立コメンター)からメッセージ

氷見市地域おこし協力隊 OB の澤田と申します。

富山県内での地域おこし協力隊ネットワークの設立に向けて、我々コメンターの思いは、募集段階から卒業まで誰一人取り残さないフォロー体制の確立、隊員・市町村・受入団体の橋渡しとそれぞれの立場の相互理解、現役隊員とOB・OGとの協力体制の強化を目的とし、準備を行っております。

ネットワークには、現役隊員・OB・OG 問わず多くの方が参加できるよう事業拡大を目指してまいりますので、ご参加・ご協力をお願いいたします。



澤田典久さん

ちょっこしお邪魔します!



11月11日(土)の少し肌寒いけれどよく晴れた週末に開かれた「移動おんがく実験室 スタジオ☆ムジカ!」にお邪魔しました。会場の朝日山公園センターハウスは比美乃江大橋まで見渡せるとも景色の良いところ。そんな素敵な場所に子どもも大人も集まり、とても楽しいひと時を過ごしました。

今回のイベントを企画したのは、氷見市地域おこし協力隊の桑折現(こおり・げん)さん。スタジオ☆ムジカさんとは、以前からの知り合い。桑折さんが立ち上げた団体 NOHARA のメンバーで、同じく氷見市隊員の比屋根秀斗(ひやね・ひでと)さんと河原朱里(かわはら・あかり)さんも一緒です。

「音楽」と「氷見」をつなげた新鮮な音楽体験ができる場を作って、正解も間違いもない自由な発想を大事にした、楽しく遊びながら行うワークショップを開きたい。それによって、子どもたちが氷見という場所にさまざまな楽しい機会があることを体験して、記憶できるようにすることを目指しています。

参加した高校生は、これまで見たこともない、音を聞いたこともない楽器がとても新鮮で、面白いと言っていました。最初は緊張していた子どもたちも音を出し始めると、どんどん元気になってきます。いろんな楽器をさわって、音を出してみる。バケツさえも楽器に変わります。スタジオ☆ムジカのみなさんのリードのもと、リズムをまね、走り、石けり&じゃんけん遊び、その後は、さらにグループに分かれて、氷見の歌を作詞しました。最後は、みんなが作った氷見の歌を合唱!音を通しての体験というのは、言葉による学びとはまた違う楽しさがあると思いました。

桑折さんは、来年も引き続き、この音楽イベントをやっていきたいとのこと。氷見で楽しい音楽体験、あなたも次回、参加してみたいはいかがでしょう。桑折さん、お邪魔しました!

スタジオ☆ムジカさん
HPです(↓)



いろいろな物で音を楽しむ!



みんなで氷見の歌を作詞



左からスタジオ☆ムジカの皆さん、桑折さん、NOHARA メンバー比屋根さんと河原さん

山口哲明さん(富山市地域おこし協力隊)

今号では、富山市地域おこし協力隊として、山田地域を拠点とされている山口哲明(やまぐち・てつあき)さんに活動をご紹介します。

私が地域おこし協力隊として山田地域に移住してきてから1年半が経ちました。

自分で育てた野菜を食べたり、ピザ窯作り、そば打ち、狩猟を行ったりなどと、この地域に来たからこそ味わえる喜びを感じ、地域の方々に助けをいただきながら日々楽しんで活動しています。

私の地域おこし協力隊の任務として地域特産品の継承、農業技術の習得、農泊事業の推進があります。

特産物である啓翁桜の生産者や地域営農組合の方々から、啓翁桜や水稻、蕎麦などの作物の栽培技術や機械操作などを学んでいます。またその体験や地域の方との関わりを活かし、山田地域で行われている農業や生活から農業体験メニューの考案や地域の協力者を募り農泊の受入れの体制づくりを進めています。

今年の8月には大学生グループの来訪があり、じゃがいも収穫や地域のお母さんとの夕食調理、そば打ちなどを体験してもらい、立山連峰や富山平野を眺めながらの農業体験や地域住民との交流を楽しんでもらえたと思います。

まだ農泊事業はスタートしたばかりで来訪者や地域の協力者も少ないですが、この活動により山田地域のファンを増やし、もっと地域が元気になっていけば良いと考えています。

今後、たくさんの方に山田地域を知っていただき、何度も足を運んでもらえるように農業体験などの企画も行っていきますので是非ご参加ください。



お手製のピザ窯



耕運機を使う山口さん



田植え中



大学生グループ来訪(山口さんは右から3人目)

山口さんは京都のご出身。以前、富山に住んだご経験もお持ちで、関西から富山市の中山間地域・山田地域に移住されました。もともと山登りが趣味で、自然が多い里山で暮らしたいと思っていたとのこと。現在は、農業を習いながら、農泊推進にも携わっておられます。山田地域は、もともと温泉地でも知られ、スキー場、キャンプ場もあります。ぜひ一度、地域を訪ね、山口さんの企画にご参加ください!!

自治体担当者が隊員さんをご紹介! コーナー

今回は **高岡市さん** です! 市・企画課にとりまどめいただき、配属先担当者から隊員さんをご紹介します!



【源代 薫さん】

福岡町五位山地区が持つ豊かな地域資源を活かし、山間部と都市部をつなぎ、さらには過去と未来をつなぐ開拓請負人、その名も“げんだい”さんです。(地域振興交流課 太田 英人さん)



【佐藤 順さん】

義経岩ガイド・観光マップ作成など地域の魅力発信に加え、地域行事や荒廃農地の草刈りに参加するなど高岡愛溢れる佐藤さんは皆さんに愛されています。(共創まちづくり課 大野 洋靖さん)



【菅野 尚子さん】

高岡市デザイン・工芸センターを拠点に、銅器や漆器の工芸技術の習得、新たな視点による伝統産業の資源や魅力発掘、情報発信に取り組んでいます。(高岡市デザイン・工芸センター 秋元 宏さん)



【加藤木 守さん】

バス会社での運転手の実務経験や趣味の落語を活かしつつ「地域交通ナビゲーター」として、公共交通(万葉線、バス)の利用促進に尽力されています。(総合交通課 勝山 理さん)

●●今年も南砺市地域おこし協力隊 報告会に行ってきました●●

南砺市では、毎年12月に地域おこし協力隊の皆さんによる活動報告会が行われています。12月17日(日)午後、今年もその席にお邪魔をしてきました。場所は井波コミュニティプラザ「アスモ」2階のふれあいホール。朝から少し雪模様でしたが、地域づくり協議会や隊員の受け入れ団体の方々を中心に、リアルとオンラインで参加者が集まりました。

現在、南砺市には7名の隊員さんがいます。林賢二(はやし・けんじ)さん(平地域担当)、真野剛(まの・つよし)さん(SDGs推進担当)、吉野玄暉(よしの・はるき)さん(南砺幸せ未来基金担当)、黒崎悠太(くろさき・ゆうた)さん(井波プロジェクト担当)、越後佑子(えちご・ゆうこ)さん(小規模多機能自治担当)、水野阿礼(みずの・あれ)さん(上平地域担当)、そして、正木友莉奈(まさき・ゆりな)さん(利賀地域担当)です。

市のご担当の方からご挨拶、協力隊制度の説明が行われ、その後、隊員さんが順次マイクを持ち、自身の活動、そして今後の計画について発表を行いました。

南砺市の7名というのは、氷見市の10名、朝日町の8名に次いで、県内では大きな数です。その7名の個性豊かな隊員さんたちは、地域や団体を拠点に異なるミッションに取り組んでいます。

当日の発表を聞いて、それぞれの隊員さんが持つスキル、経験、関心がミッションとする活動の中に活かされていること、そして、南砺市ならではのエコや民藝、地域産品を活かした新しい試みをなされていることに大いに感服しました。そして何よりも7名の方々が全体としてとてもよいバランスで地域おこしをされているのではないかと印象が残りました。

また、このような報告会は、隊員の皆さんと直接にやりとりもでき、地域の方々、市内、県内の方々に協力隊の活動について知っていただくために非常に有用な機会であると思えます。

ちなみに、南砺市では、現在、有機農業担当、コミュニティカフェの開設に向けたコンセプトデザイナー、城端6次産業化担当の3つのポジションで隊員を募集中です。仲間が増えるのも間近かもしれません。



会場の様子

ちょっこしお邪魔します!

12月10日(日)は世界人権デー。この日に「性の多様性ちや、なにけ?」イベントが開催されました。主催は、射水市地域おこし協力隊の山田奈津子(やまだ・なつこ)さん。山田さんは移住コーディネーターを務めて3年目の隊員さんです。共催・監修の「レインボーハート富山」とのコラボ企画です。

このイベントの副題は「10年後も「住み続けたい」「移り住みたい」「戻ってきたい」まちになるために」。山田さんがこのイベントを開催しようと思った第一の理由は、このような多様性に関する学びの機会が、県内、市内では、まだまだ限られていると思ったこと、そして第二に、みんなが「自分らしく」生きられる場所こそが本当に移住したくなるまちなのではないかという思いから。

その第一歩として、性の多様性に理解がある人が「いる」ことが「見える」ようになればと思い、このイベントを企画したということです。

お邪魔した当日の参加者は多様。女性も、男性も、そして、若い方々が多かったですが、少し高い年齢層の参加者もおられました。さらには、外国にルーツを持つ方も参加されていました。この多様性、嬉しい限りです。

最初の講師は富山福祉短期大学の松尾祐子(まつお・ゆうこ)先生。「多様な性・生活・人生-Beyond Gender-」と題したお話を伺い、意識面や制度面で、社会全体が多様な性を前提としたものにまだまだアップデートできていないことが、当事者が困難に直面する理由であることなどを学びました。

次いで、共催のレインボーハート富山のなかがわ・みちる)さん、佐脇宏史(さわき・ひろし)さん。「困りごとを知り、実践につなげよう」をテーマに団体の取り組み、日本・県内の状況をお話いただき、自分にできることを考える機会をもらいました。お隣の金沢市では、プライド・イベント(パレード)が開催され、LGBTQ+の人たちの常設の居場所があるということです。富山ももうひとつがんばりかも。

最後は参加者それぞれにレインボーフラッグを作り、自分が意識したいことを記しました。筆者はアンコンシャス・バイアスを意識できたらと思います!

山田さん、お邪魔しました!



松尾先生によるお話



レインボーハート富山さんのお話



山田奈津子さん(ワークショップの説明中)

着任・退任情報(令和5年10月1日~11月30日)(敬称略)



<<着任>>

壇 百合(だん・ゆり) 高岡市 観光振興・情報発信

<<退任>>

西岡 恵一(にしおか・けいいち) 小矢部市 移住コンシェルジュ
中谷 亮太(なかたに・りょうた) 立山町 平坦地観光

<隊員が見つけた富山の魅力フォト>

着々と雪囲いが始まった11月。

雪の便りはまだありませんが、朝一の神社には澄んだ光がさしていました。

ここには今と昔を結ぶ、とっても立派な天然の大杉が御神木として聳え立っています。

今も昔の景色を味わうことのできる東種と白山神社。

圧巻の大杉に直接会いに来てください!



撮影・文章:野見山 明子(のみやま・あきこ)さん
 上市町地域おこし協力隊
 撮影場所:上市町東種白山神社



スピンのオフ・バージョン☆三 ちょっこしお邪魔します!

今月は「ちょっこしお邪魔します!」のスピンのオフ報告をひとつ。元南砺市地域おこし協力隊で2021年1月末に退任された河合秀治(かわい・しゅうじ)さんのパートナー河合恵(かわい・めぐみ)さんの活動をご紹介します。恵さんは、ドライフラワーのアレンジメントなどを手がける工房「フランネル」を主宰されています。

12月3日(日)、「しめ飾りワークショップ」が開催されました。「たべごと屋」ナトゥーラの水野由紀恵(みずの・ゆきえ)さんの企画で、今年も講師は恵さんです。今回はシリーズの2回目で、合掌ゲストハウス・かずらに続き、となみ散居村ミュージアム・交流館で行われました。

参加者は10名、小さいお子さんを連れてご家族での参加もありました。最初に会場に到着されたのは、なんと金沢からおいでの方。Instagramで偶然目にして、ぜひ参加したいと思ってやってきたとのこと。2回目、3回目のリピーターさんもいて、会場には、最初から和気あいあいとした心地よい空気が流れていました。

今年作るのは、「先を見通す」めがね型のしめ縄です。主な材料は、水野さんが育てた無農薬の稲わら、早くに刈った緑の稲わらと黒米の稲わらの2種類です。その他に、ふわふわとしたパンパスグラスも使います。

最初は、水で藁を湿らせながら、よりをかけて縄を結っていきます。恵さんのお手本を見ながらでも、初心者には、これがなかなか難しい。稲わらの懐かしいような、落ち着いたような香りが漂う中、恵さんに手ほどきをもらいながら、そして、少し悪戦苦闘しながら、皆さん、形を作り上げていきました。めがね型に形が仕上がったら、最後は、お守りにもなるという精麻で作った菊結びの飾りをつけて完成です。ワークショップ後は、水野さんお手製のぜんざいと藁のお茶をいただきました。

恵さんは「調和」を大事にしたいと考えています。調和を大事にすることで、いろいろなものが丸く丸くおさまっていく。お話を聞いていて、今、世界にはききな臭い状況もありますが、来年こそは、より平和な世界になったらよいなと思いました。

お問い合わせ、そして、ワークショップなど、恵さんとコラボ企画のアイデアがある方は、インスタ経由、ご連絡ください。



しめ縄の説明



藁によりをかけてます



ちょっと手直し



しめ縄を手に全体写真

Flannel の
 インスタはこちら



隊員さんの民泊施設、ゲストハウスご紹介

富山の人にとって「住まい」は特別なもの。そんな富山の「家」を活かして、民泊を始めた隊員さん、ゲストハウスやアーティスト・イン・レジデンスを準備中の元隊員さんをご紹介します。

アトリエ千水 and 陶芸作家の民泊 Breakers House by 文絵さん

入善町の地域おこし協力隊、文絵(ふみえ)さんは、現在、任期3年目。来年の3月末で任期満了、卒隊の予定です。文絵さんの主なミッションのひとつは、陶芸を通して地域を盛り上げ、町の魅力を発信すること。着任当初から、地域ならではの素敵なモノ、植物や野鳥など、そして二十四節気モチーフにした器づくりに取り組んでこられました。

そして、活動のもうひとつの柱が「民泊づくり」。もともと観光分野のご経歴をお持ちですが、昨年には、県主催の観光塾にも参加、魚屋さんだったというご自宅の2階を宿泊スペースにすべりノバージョンを進めてきました。今年1月には、モニターさんの受け入れを開始、陶芸作家である文絵さんのファンの方々など、既に10組の方が訪れています。

文絵さんの民泊づくりのコンセプトは「異日常体験」でのおもてなし。「観光」ではなくて、幸せを感じる「感幸(かんこう)」のひとつづくりです。自然の中での散歩、地元のお店での買い物や食事、地域の人たちとの出会いなどを通じて、入善での日常をゆったりと楽しんでもらいたいとのこと。

ご自宅の1階は文絵さんのアトリエ、2階に上がると無垢材の優しい色合いと香りにホッとする空間になっていました。窓から見える里山風景も素敵で心落ち着く感じます。

受け入れは、1日1~2人、女性、それとご家族やご夫婦限定です。現在、モニターさんを募集中とのことですので、文絵さんお勧めの入善の日常を楽しみたい方は、ぜひお問い合わせください。InstagramやX(旧Twitter)などは「文絵」で検索ください。



お問い合わせは
こちらからどうぞ⇒



ゲストハウス準備中(来春オープン予定) by 野元希恵さん

来年、氷見市の潮風通り商店街に新しいゲストハウスが誕生します。現在、そのゲストハウスを準備中なのが、氷見市の元隊員、野元希恵(のもと・きえ)さんです。

野元さんは旅行が大好きで、これまでも全国各地のゲストハウスを訪れてきました。そして、自身でもゲストハウスをやりたいと思い始め、井波の Bed and Craft へお手伝いに行ったり、県の観光塾にも参加したりと準備を進めてきました。

ゲストハウスにする物件は地域のお知り合いを通じて見つけたもの。元反物屋さんで、商店街に典型的な細長い作りになっています。建築家の方のアドバイスをもらいながら、建物のつくりを活かした部屋の配置を検討中です。

「暮らしを体験できる宿」をコンセプトに、実家や親戚の家に泊まりに来たような居心地のよい宿を目指します。宿の近くの魚屋さん、肉屋さんで氷見の新鮮な食材を買って食事を楽しんでもらう、旅行者にはハードルが高い地元の居酒屋へも案内したいとのこと。

野元さんが氷見市に残ることに決めたのは地元の人の方が面白いから。優しく、世話好きな氷見の人を宿泊者にも紹介して、自分と同じように氷見を好きになってもらいたいと思っています。

2階からは、氷見の商店街を見下ろすことができ、通常とはまた違った商店街の風景を楽しむことができます。そして、1階では、現在、「100歳体操」が行われていますが、そのまま地域の拠点として残し、地元の方との交流を楽しめるスペースにする予定です。

来春にはオープン予定。気になる方は、随時、SNS をチェックください。



お問い合わせは
SNS からどうぞ⇒



ゲストハウス、アーティスト・イン・レジデンス準備中 by 藤田義史さん

氷見市では、さらにもう1軒、ゲストハウス開設に向けて、動きが始まっています。場所は、氷見の里山、久目地区。オーナーは、氷見市の元隊員、藤田義史(ふじた・よしふみ)さんです。

藤田さんの在任中のミッションは、氷見市 IJU 応援センター・みらいエンジンでの移住相談。移住者の方々が住みたいと希望する市内各地を知っています。そんな藤田さんがゲストハウスを開く場所として選んだのが、移住者受け入れも進んでいる久目地区でした。物件は地域の先輩移住者を通じて見つけたとのこと。

でも、ゲストハウスを開こうという話が動き出したのは、ついこの間、今年の1月だったそう。現在、チェコに住む友人が氷見に遊びに来た際に、氷見を大層気に入ったことから始まりました。

現在はゲストハウスを設計中、来秋オープンを目指しています。ゲストハウスは一棟貸しの宿、物置はBBQ や料理を楽しめる場所に改修したいと考えています。1年のうち、1~2か月ぐらいは、先の友人のようなアーティストが利用できるアーティスト・イン・レジデンスにして、アーティストが作品作りをしながら、地域の人たちとも交流できる機会を提供したいとのこと。

それ以外の時期には、一般の人でも「氷見の里山で最上級の日常を味わう」ことができる場所にして、同時に、地域の人たちにも集まってもらえるような拠点にできたらと夢は広がります。

何も知らないでやってきた氷見だけれど、氷見をとても気に入っている藤田さん。そんな藤田さんが作る里山のゲストハウスの完成が待ち遠しいです。

お問い合わせは、080-4167-4423 まで。

Facebook はこちらからどうぞ⇒



ちょっと耳より情報
～起業・事業承継に関心のある方へ～



今号の「ちょっと耳より情報」では、県内の起業・事業承継支援を行っている施設とサイトをご紹介します。

ご紹介する施設はどちらも地域おこし協力隊の皆さんからのご質問、ご相談を歓迎しています。情報収集したい、アイデアを整理したい、アイデアはあるけれど、それを事業化できるかどうか分からない等々、思っている方、まずは気になるところへご連絡してみたいかがでしょうか。



富山県創業支援センター「SCOP TOYAMA (スコップトヤマ)」

SCOP TOYAMA は2022年10月にオープン。創業相談は、もちろん、SCOPにオフィスを持つこと、お店を出すこと、スペースを借りること、住むこともできる創業・移住促進のための一体型の支援を提供しています。

起業してみたいという想いのあるあなたにまずのおすすめは、「BizHike」。関心はあるけれど、なかなか踏み出せない、創業ステージのどこに自分がいるのかわからない、どこで何を相談すればよいのかわからない、そういう方向けの応援事業です。「ひとりにならず、みんなで歩む」をモットーに創業前から創業後まで必要な時に必要な支援を原則無料で提供しています。気になる方はHPでチェック、公式ラインに登録すると通知が来ます。

その他、セミナーや相談会など、さまざまなイベントが行われていますので、イベント参加から始めるのもいいかも。既に相談事がある方はHP上の相談フォームからご連絡ください。

作業の合間に、ふと外を見ると、晴れた日には大きな窓越しに立山連峰がくっきりと見える、富山ならではの癒される施設です。ドロップイン利用もあり、富山市のまちなかからは市電と接続されている旧ライトレールで15分ほど。駐車スペースもありで車利用も便利です。

★2024年1月14日、BizHike イベント「創業・事業のリアルストーリー」が開催されます！



BizHike



ライン登録



住所：富山市蓮町1-7
電話：076-456-7373
開館時間：10時～20時
休業日：月曜日



高岡まちなかスタートアップ支援施設「TASU (タス)」

TASU は今年3月にオープン、高岡駅から近い御旅屋セリオ4階にある市の施設です。起業・創業の支援と中心市街地の賑わい創出を念頭に開設された施設で、市内外を拠点とする隊員の皆さんも利用することができます。

TASUには、コーディネーターが常駐していて、無料で相談が可能です。相談は誰でもOK、どのような分野でもOKとのこと。

そして、なによりもこの施設の特徴は、相談窓口、ライブラリーやイベント・コーナーがあるサポートエリアに加え、シェアラウンジ(有料)やスタディスペースも設けられていること。

訪れやすい、居心地の良い空間を目指しているTASUでは、誰でも、これらのスペースが利用可能。ちょっと立ち寄り、お洒落なラウンジでコーヒーを飲んでひと休みするもよし、スタディスペースでスキルアップの勉強をするもよし、ライブラリーで起業の新刊本を読むもよし。いろいろな使い方ができそうです。

また、TASUでは、さまざまな学びと交流の機会も提供しています。この夏には、アイデアを形にするために参加者みんなで輪になって意見出しをする「ゼロイチ コミュニティ会」を開始。商品アイデア発表会、コミュニティビジネスのセミナーなども行われています。

★2024年2月にはコミュニティビジネス・セミナーを、また3月には創業セミナーも開催します。★



TASU HP



TASU FB



住所：高岡市御旅屋町101
電話：0766-30-3420
開館時間：平日13時～21時
土日祝10時～18時
休業日：水曜日



氷見市ビジネスサポートセンター「Himi-Biz (ヒミビズ)」

Himi-Bizは、起業家、個人事業主、中小企業を対象に、「f-Biz」モデルと呼ばれる伴走型のビジネスコンサルティングを提供している無料の相談所です。氷見市・中心市街地のアーケード商店街にあります。

2020年6月のオープン以来、相談件数は累計で4,000件超。氷見市隊員の皆さんもセンターを利用されているということで、「地域おこし協力隊」についてもよくご存じ。市外の隊員の皆さんもご相談可能です。

主なサービスは、個別無料経営相談、ビジネスマッチング、セミナー開催。常駐のスタッフに加え、必要に応じ、IT、デザイン、事業計画などの専門アドバイザーが伴走支援します。

「どんな事業者にもセールスポイントがある」をモットーに、個別のヒアリングを通じて、相談者も気がついていない強みを見出し、売り上げ向上、課題解決に向けたアドバイスをしています。起業や事業承継に関心がある方は、どのような分野、どのような段階でもよいので、まずは気軽に相談に来てほしいということです。

実践型ビジネスセミナー「アントレプレナー道場」他、多くのセミナーが開催されています。

★2024年1月24日に第36回Himi-Bizセミナーが「0から1を生み出す～新規ビジネスの取り組み方」と題し開かれます！★



Himi-Biz HP



Himi-Biz FB



住所：氷見市本町14-7
電話：0766-75-3640
開館時間：9時～17時
休業日：土日祝



TomorrowWorks.

TomorrowWorks.
未来を導く、革新の志。

TomorrowWorks.は、募集企業や団体に直接に取材をし、丁寧な文章と写真で求人情報を見える化することで、氷見で働くことの魅力を伝えることを目的に制作された求人サイトです。

仕事を探すときに気になるのは、業種や規模だけではなく、職場の雰囲気やどんな人たちと一緒に働くことになるのかということ。でも、中のことはわかりづらいもの。特に、市外、県外からの転職であると、職場に関する情報はなかなか得づらいものと思います。だからこそ、働いている方たちの想いや価値観、仕事内容と地域のつながりといった情報も見える化して、移住者をはじめとするターゲット層に届けています。

TomorrowWorks.では、さらに後継者募集記事「氷見で継ぐ。」も掲載しています。単に後継者募集の情報をオープンにするだけでなく、事業者さんの思いに寄り添い、氷見のまちと共に生まれてきたストーリーを届けることを通じて、これまでに飲食店など2件のマッチングが成立したということです。

TomorrowWorks.では、今後も市内の第三者事業承継を推進していきます。承継対象は氷見市内の企業、団体さんに限られますが、氷見にご関心のある方は、TomorrowWorks.のサイトやSNSをチェックされてはいかがでしょうか。



HP



FB



Instagram



お問い合わせは上記 HP、SNS から
お願いします。

富山県事業承継・引継ぎ支援センター

中小企業の事業承継は全国的に大きな課題となっています。県内でも約6割の企業において後継者が不在（帝国データバンク『富山県「後継者不在率」動向調査』2023年）ということで、後継者不在率は全国平均よりも高い状況になっています。

事業承継・引継ぎ支援センターは、そのような状況をふまえ、国の事業として設置されたもので、事業承継に関する総合相談窓口となっています。

センターでは、企業の「売り」と「買い」について、どのような相談も受け付けているということです。ご相談を受けて、課題を見つけ、整理し、マッチングという流れになります。

事業を承継することに関心がある隊員の皆さんの場合には、「後継者人材バンク」への登録が選択肢です。センターでは、人材バンクに登録した「創業希望者」と「後継者不在の事業者」とを引き合わせ、事業を引き継ぐための支援を行います。

地域おこし協力隊の皆さんもこの人材バンクに登録することができます。ただし、事業を承継して継続していくには、やはり経営の知識やスキルが必要なので、商工会議所などが主催する創業塾をぜひ受講してほしいとのこと。また、引き継ぐことに関心のある業種、分野は決まっている方がありがたいということです。

事業承継や人材バンク登録に関心がある皆さん、まずはセンターまでお問い合わせください。

富山県 事業承継・引継ぎ支援センター



後継者
人材バンク HP



住 所：富山市高田 527
情報ビル 2F
富山県新世紀産業機構内
電 話：076-444-5625
相談受付時間：8時30分～17時15分
休 業 日：土日祝



地域おこし協力隊向けイベントご案内



来る2月21日（水）、地域おこし協力隊向け、以下のイベントを開催します。

- 富山県OB・OGネットワーク設立式
- 富山県地域おこし協力隊表彰式
- 交流会

場所：富山県美術館3階レストラン「BiBiBi&JURULi-ビビビとジュリ」

時間：15:00～17:30（予定）

詳細が決まり次第、皆さんにあらためてご案内いたします。2月21日午後、ぜひカレンダーに印をつけておいてください。皆さんのご参加をお待ちしております。



昨年の「地おこ café トーク」全体写真

■ 編集後記 ■

2023年もあっという間に過ぎつつあります。この4月に創刊し、隔月で発行してきました「とやまの地おこ・かわら版」も、この12月で第5号となりました。

取材のお声がけをいただいた皆さま、取材を快く受けいただきました皆さま、記事の作成、お写真の提供などなど、ご協力をいただきました皆さま、そして、本紙をお読みいただいた皆さま、本当に有難うございました。

来年も、引き続き、役立つニュースレターを目指していきます。2024年が皆さまにとって良い年となりますように。新年もどうぞよろしくお願いいたします。(M)

■ お問い合わせ・ご連絡先 ■

富山県 中山間地域対策課（担当：蟹澤、三上）

〒930-8501 富山市新総曲輪1番7号

TEL：076-444-9605 EMAIL：achusankan@pref.toyama.lg.jp

HPへはこちらからお入りください →

